

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 森尾電機株式会社
 コード番号 6647 URL <http://www.morio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 塚 又一
 (氏名) 今井 健之

TEL 03-3691-3181

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,015	△7.5	△10	—	△14	—	△22	—
21年3月期第2四半期	3,261	—	55	—	49	—	46	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	△1.60	—
21年3月期第2四半期	3.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭	円銭	
22年3月期第2四半期	5,874	—	2,620	—	44.6	—	190.39	
21年3月期	6,389	—	2,757	—	43.2	—	193.73	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,620百万円 21年3月期 2,757百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	3.00	3.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,300	△7.4	110	△64.1	100	△66.0	50	△70.5	3.58

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 14,250,000株 21年3月期 14,250,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 485,353株 21年3月期 18,153株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 13,964,962株 21年3月期第2四半期 14,232,107株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,250	△7.7	110	△61.1	100	△63.3	50	△65.9	3.58

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激対策や企業の在庫調整の促進等により、一部の産業に回復の兆しが見られたものの、雇用情勢の悪化や設備投資の減少が継続する等、景気は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは需要低迷の中で受注確保に努めた結果、事業のセグメント別売上高は次のとおりとなりました。

電気機器製造販売事業の内、主力の鉄道営業部門につきましては、国内通勤近郊電管用や新幹線車両用電気機器等の納入は順調に推移しましたが、売上高は前年同四半期比7.7%減の27億22百万円となりました。

自動車営業部門につきましては、各高速道路会社等への納入がやや減少し、売上高は前年同四半期比8.5%減の1億43百万円となりました。

船舶他営業部門につきましても、防衛省関連等への納入がやや減少し、売上高は前年同四半期比5.0%減の1億4百万円となりました。

以上により、電気機器製造販売事業の売上高は、前年同四半期比7.6%減の29億70百万円となりました。

また、不動産事業等につきましては、賃貸マンションが順調に稼動しており、売上高は前年同四半期比1.7%減の45百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比7.5%減となりましたが、ほぼ期初予想の30億15百万円となりました。

収益面につきましては、景気の低迷が続く中厳しい価格競争の影響もあり、営業損失10百万円（前年同四半期は営業利益55百万円）、経常損失14百万円（前年同四半期は経常利益49百万円）、四半期純損失22百万円（前年同四半期は四半期純利益46百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

①資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億2百万円減少し、38億5百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が4億72百万円減少したことと、たな卸資産が1億7百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、20億68百万円となりました。これは、主として投資有価証券が49百万円増加したものの、建物及び構築物が39百万円減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、58億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億15百万円の減少となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億15百万円減少し、26億46百万円となりました。これは、主として短期借入金が1億56百万円減少したことと、未払法人税等が1億30百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、6億6百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が30百万円増加したものの、長期借入金71百万円減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は32億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億78百万円の減少となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における株主資本合計は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、24億97百万円となりました。これは、主として利益剰余金が65百万円減少したことと、自己株式を65百万円取得したことによります。

当第2四半期連結会計期間末における評価・換算差額等合計は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、1億22百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が18百万円増加したものの、為替換算調整勘定が23百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は26億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億36百万円の減少となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ95百万円増加し、6億5百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は4億61百万円（前年同四半期比80百万円、14.9%減）となりました。この主な要因は、収入については、売上債権の減少額4億69百万円、たな卸資産の減少額1億3百万円等であり、支出については仕入れ債務の減少額66百万円等により、キャッシュ・フローが増加したことによります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は20百万円（前年同四半期比7百万円、26.1%減）となりました。この要因は、有形固定資産の取得による支出13百万円、無形固定資産の取得による支出6百万円等により、キャッシュ・フローが減少したことによります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は3億37百万円（前年同四半期比3億35百万円、49.9%減）となりました。この主な要因は、短期借入金の減少額1億2百万円、長期借入金の返済による支出1億25百万円等により、キャッシュ・フローが減少したことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表いたしました平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年10月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正しております。詳細につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	905,397	810,080
受取手形及び売掛金	1,525,582	1,997,700
商品及び製品	473,307	480,383
仕掛品	499,452	552,294
原材料及び貯蔵品	377,276	424,438
繰延税金資産	3,665	5,032
その他	21,018	37,786
貸倒引当金	△286	△50
流動資産合計	3,805,413	4,307,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,195,901	2,204,724
減価償却累計額	△913,507	△882,404
建物及び構築物(純額)	1,282,393	1,322,319
土地	27,609	27,609
その他	499,075	548,048
減価償却累計額	△393,473	△426,975
その他(純額)	105,602	121,072
有形固定資産合計	1,415,605	1,471,002
無形固定資産	51,525	57,886
投資その他の資産		
投資有価証券	536,513	487,183
その他	68,916	69,107
貸倒引当金	△3,827	△3,650
投資その他の資産合計	601,602	552,640
固定資産合計	2,068,734	2,081,529
資産合計	5,874,147	6,389,195

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,099,256	1,166,026
短期借入金	1,286,580	1,443,473
未払法人税等	11,604	142,579
賞与引当金	126,000	81,000
役員賞与引当金	—	16,000
その他	123,448	113,619
流動負債合計	2,646,889	2,962,699
固定負債		
長期借入金	489,481	560,979
繰延税金負債	50,263	19,392
退職給付引当金	10,369	9,119
その他	56,435	79,922
固定負債合計	606,549	669,413
負債合計	3,253,438	3,632,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,500	1,048,500
資本剰余金	897,272	897,272
利益剰余金	621,073	686,578
自己株式	△69,019	△3,140
株主資本合計	2,497,826	2,629,210
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	133,724	115,159
為替換算調整勘定	△10,842	12,712
評価・換算差額等合計	122,882	127,871
純資産合計	2,620,708	2,757,082
負債純資産合計	5,874,147	6,389,195

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,261,250	3,015,747
売上原価	2,723,429	2,533,217
売上総利益	537,821	482,529
販売費及び一般管理費	482,663	492,565
営業利益又は営業損失(△)	55,157	△10,035
営業外収益		
受取利息	1,724	1,529
受取配当金	6,395	5,273
受取補償金	3,300	—
雑収入	4,061	4,313
営業外収益合計	15,481	11,116
営業外費用		
支払利息	17,705	14,461
為替差損	2,830	718
雑損失	201	90
営業外費用合計	20,738	15,269
経常利益又は経常損失(△)	49,900	△14,189
特別利益		
固定資産売却益	180	—
特別利益合計	180	—
特別損失		
固定資産除却損	168	1,710
貸倒引当金繰入額	—	127
ゴルフ会員権評価損	—	50
特別損失合計	168	1,888
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	49,912	△16,077
法人税、住民税及び事業税	2,840	4,813
法人税等調整額	804	1,473
法人税等合計	3,644	6,287
四半期純利益又は四半期純損失(△)	46,268	△22,364

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	49,912	△16,077
減価償却費	67,121	67,856
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,001	1,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	176	437
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,000	45,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,000	△16,000
受取利息及び受取配当金	△8,119	△6,803
支払利息	17,705	14,461
為替差損益(△は益)	2,830	718
固定資産除売却損益(△は益)	△12	1,570
売上債権の増減額(△は増加)	485,785	469,698
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,527	103,777
その他の流動資産の増減額(△は増加)	505	△8,119
その他投資等の増減額(△は増加)	85	—
仕入債務の増減額(△は減少)	202,967	△66,605
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△10,252	△4,687
未払消費税等の増減額(△は減少)	△124,869	42,659
その他	△3,005	△22,748
小計	607,304	606,388
利息及び配当金の受取額	8,119	6,803
利息の支払額	△17,705	△13,933
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△56,000	△138,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	541,718	461,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△21,769	△13,881
有形固定資産の売却による収入	801	—
無形固定資産の取得による支出	△7,015	△6,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,983	△20,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△803,538	△102,982
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△98,602	△125,322
自己株式の取得による支出	—	△65,879
配当金の支払額	△71,162	△42,297
その他	△117	△1,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△673,420	△337,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,350	△7,350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△155,335	95,317
現金及び現金同等物の期首残高	613,416	510,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	458,081	605,397

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	電気機器製造 販売事業(千円)	不動産事業等 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,215,255	45,995	3,261,250	—	3,261,250
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,215,255	45,995	3,261,250	—	3,261,250
営業利益	118,701	26,767	145,468	(90,311)	55,157

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要品目

電気機器製造販売事業……………鉄道車両用配電箱・車内表示器等及び自動車用車載表示器等

不動産事業等……………賃貸マンション・店舗経営

3 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益は、電気機器製造販売事業において4,141千円それぞれ減少しております。

4 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。これによるセグメント情報に与える影響はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	電気機器製造 販売事業(千円)	不動産事業等 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,970,534	45,213	3,015,747	—	3,015,747
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,970,534	45,213	3,015,747	—	3,015,747
営業利益又は営業損失(△)	45,613	28,002	73,616	(83,651)	△10,035

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要品目

電気機器製造販売事業……………鉄道車両用配電箱・車内表示器等及び自動車用車載表示器等

不動産事業等……………賃貸マンション

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を越えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を越えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年5月22日付けで、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)において自己株式の取得を行いました。この取得によって、当第2四半期連結累計期間において自己株式が65,847千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が△69,019千円となっております。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における電気機器製造販売事業の生産実績を示すと、次のとおりであります。

営業部門別	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道	2,658	△6.0
自動車	129	△23.5
船舶他	90	△9.3
合計	2,879	△7.1

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における電気機器製造販売事業の受注状況を示すと、次のとおりであります。

営業部門別	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道	2,723	△62.1	8,061	△17.7
自動車	299	△33.0	160	△54.5
船舶他	134	△20.0	94	△63.5
合計	3,156	△59.5	8,315	△20.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)	
電気機器製造販売事業	鉄道	2,722	△7.7
	自動車	143	△8.5
	船舶他	104	△5.0
	合計	2,970	△7.6
不動産事業等	45	△1.7	
合計	3,015	△7.5	

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
三菱電機(株)	564	17.3%	726	24.1%
東海旅客鉄道(株)	710	21.8%	621	20.6%

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。